

本校福祉科1・2年生の被災者支援ボランティアが南日本新聞に掲載されましたので紹介します。



北薩大雨

家財片付け・カレー振る舞い 被災者支援広がる

9日夜から10日の記録的な大雨で被災し復旧作業が続く北薩地域では14日、ボランティアが家の片付けを手伝ったり、カレーを振る舞ったりして被災者を励ました。(2面参照)

さつま町の薩摩中央高校1、2年生22人は、浸水被害を受けた同町求名の独居女性(74)宅の後片付けに励んだ。泥をかき出したり、タンスなどの道具やごみを運び出したりした。

1年の東園涼雅さんは「家の中の土砂を見て怖さを感じた。役に立ててうれしい」。1年の日高菜々子さんは「今後も災害ボランティアに参加していきたい」と汗を拭いた。